

近現代戦争史 図書目録 1996 2020

目 次

凡 例 (6)

内容目次 (9)

近現代戦争史図書目録 1996-2020

世界 1

ヨーロッパの戦争 288

中東の戦争 348

アフリカの戦争 405

アメリカの戦争 422

アジア・オセアニアの戦争 448

著者名索引 651

事項名索引 687

近現代戦争史年表 698

凡 例

1. 本書の内容

本書は、1996年（平成8年）から2020年（令和2年）11月までの25年間に日本国内で刊行された図書の中から、18世紀末以降に発生した戦争・紛争・革命等に関する図書を網羅的に集めた図書目録である。

2. 収録の対象

(1) 18世紀末のアメリカ独立戦争、フランス革命から21世紀の対テロ戦争まで、戦争・内戦・紛争に関する図書7,649点を収録した。

但し、太平洋戦争関連の図書は除いた。これらの図書については既刊の「太平洋戦争図書目録45/94」「同1995-2004」「同2005-2015」を参照されたい。

(2) 対外戦争ではないが世界史的にみて重要と思われる内乱、革命、クーデターに関する図書も収録した。

(3) 収録した図書には戦記・従軍記、戦史・作戦史、兵器等の歴史書、庶民の体験記・回想録・追想録、日記・聞き書き・証言集等が含まれる。但し歴史小説、児童書の類いは原則除いた。

3. 見出し

(1) 「ヨーロッパ」「中東」「アフリカ」「アメリカ」「アジア・オセアニア」の5つの地域を大見出しに立て、各図書を戦争・紛争・革命等が起こった地域ごとに分類した。「世界大戦」「東西冷戦」など多くの地域にまたがる戦争や「イスラム圏」「中央アジア」など5つの地域以外の戦争・事件をまとめた図書に関しては大見出し「世界」を冒頭に立て、分類した。

例：ベトナム戦争

アジア・オセアニアの戦争＞ベトナム戦争〔1961 - 75〕

(2) 戦争名・事件名ごとに中見出しを立て年順に排列した。複数の事件を主題とする、あるいはいずれにも関係しない図書は大見出しの下に分類した。

(3) 中見出しの下に多数の図書が集中して検索の不便となる場合は、さらに小見出しを立てて主題を細分化した。詳細は「見出し一覧」を参照されたい。

4. 図書の排列

(1) 各見出しの下で発行年月の新しいものを先に排列した。

(2) 刊行年月が同じ場合は、書名の五十音順に排列した。

5. 図書の記述

記述の内容と順序は次の通り。

書名／著者名／版表示／出版地（東京以外を表示）／出版者／発行年月／頁数または冊数／大きさ／叢書名・叢書番号／注記／定価（刊行時）／ISBN(①で表示)／NDC(⑨で表示)／文献番号／内容（刊行時）

6. 著者名索引

(1) 各図書の著者などを索引の見出しとした。

(2) 排列は、まず姓の五十音順、次に名の五十音順とした。

(3) 図書の所在は文献番号で示した。

7. 事項名索引

(1) 本文の各見出しに包含されるテーマなどを索引の見出しとした。

(2) 排列は事項名の五十音順とした。

(3) 図書の所在は、本文の見出しとその掲載（開始）頁で示した。

8. 書誌事項等の出所

本書に掲載した各図書の書誌事項は、概ねデータベースBookPlus、JAPAN/MARCに拠ったが、掲載にあたっては編集部で記述形式等を改めたものがある。

9. 参考資料

図書の分類・調査にあたっては、次の資料を参考にした。

「世界史大年表〔増補版〕」山川出版社，2018年4月

「世界史年表・地図」吉川弘文館，2020年4月

- ◇1956年のハンガリー革命—改革・蜂起・自由闘争・報復 リトヴァーン・ジェルジュ編、田代文雄訳 現代思潮新社 2006.10 330p 20cm (文献あり) 2800円 ①4-329-00446-1 ②234.7
- 内容** 第1章 革命への道 第2章 革命の日々 第3章 革命の後衛戦 第4章 革命後の報復 第5章 革命の理念と理想 第6章 エビロゲ—革命の反響と記憶 第7章 一九五六年研究のための推薦文献 [3847]
- ◇ハンガリー1956—新訳 アンディ・アンダーソン著、南塚信吾監訳、吉橋弘行訳 現代思潮新社 2006.10 261p 20cm (年表あり 文献あり) 2400円 ①4-329-00445-3 ②234.7
- 内容** 序章 東西の合意 解放? サラミと賠償 搾取と従属化の方法 抵抗の拡大 新路線? ポーランドの暴動 一触即発の危機の高まり 最初の要求 [ほか] [3848]
- ◇ハンガリー事件と日本—一九五六年・思想史的考察 小島亮著 現代思潮新社 2003.5 227p 20cm (中公新書1987年刊の新版 文献あり) 2200円 ①4-329-00429-1 ②309.021
- 内容** 序章 スターリン批判からハンガリー事件へ 第1章 一九五六年の日本の思潮 第2章 思想的スウェーデン・ヴァーグの誕生 第3章 社会党・自民党とハンガリー事件 第4章 日本共産党とハンガリー事件 第5章 ニュー・レフトの形成 [3849]
- ◇1956 Budapest チュテ・エルシュ原著、糠沢和夫訳 都市出版 2000.3 125p 30cm (奥付の書名: Budapest 1956) 2000円 ①4-924831-91-3 ②234.7 [3850]
- フランス五月革命〔1968〕
- ◇パリ五月革命私論—転換点としての1968年 西川長夫著 決定版 平凡社 2018.11 485p 16cm (平凡社ライブラリー 875) (文献あり 年表あり) 1600円 ①978-4-582-76875-6 ②235.07
- 内容** 第1章 六八年五月以前(そのとき世界は「ゴダールの世界」) 第2章 ナンテル・ラ・フォー(ナンテルと三月二二日運動 ナンテル分校からソルボンヌへ) 第3章 六八年五月の写実が語るもの(写実を撮るということ 前兆はか) 第4章 知識人の問題(六八年と知識人—予備的考察 森有正と加藤周一—私的回想ほか) 第5章 六八年革命とは何であったか—四三年後に見えてきたもの、見えなくなったもの(忘却と想起の抗争 一九八九年、フランス革命二〇〇年祭と東欧革命ほか) [3851]
- ◇68年5月 ローラン・ジョフラン著、コリン・コバヤシ訳 インスク립ト 2015.7 383p 20cm (文献あり 年表あり) 3200円 ①978-4-900997-46-2 ②235.07
- 内容** 第1部 五月一日—三日「学生の危機」(五月三日ソルボンヌの火花 学生の反抗、その二重の起源 一九六八年一月—五月 事件に火をつけたのはナンテルだ! ほか) 第2部 五月一日—四日 二四日「社会危機」(一九六八年のフランス社会 五月一日 権力を掌握するボンビドゥー 五月一日 学生コミュニケーションほか) 第3部 五月二五日—三〇日「政治危機」(五月

- 二五・二六日 グルネル会議 五月二七日 ビヤンクールからシャルレティ競技場へ 五月二八日 ゲームを射止めたミッテラン ほか) [3852]
- ◇68年5月とその後—反乱の記憶・表象・現在 クリスティン・ロス著、箱田徹訳 航思社 2014.11 475p 20cm (革命のアルケオロジー 3) (文献あり 索引あり) 4300円 ①978-4-906738-09-0 ②235.07
- 内容** 第1章 ポリスによる歴史 第2章 ささまざまな形態、さまざまな実践 第3章 違う恵に同じ顔 第4章 コンセンサスが打ち消したもの 日本語版補遺 いまを採ること 訳者あとがき 反乱の想起 [3853]
- ◇1968パリに吹いた「東風」—フランス知識人と文化大革命 リチャード・ウォーリン著、福岡愛子訳 岩波書店 2014.7 383, 35p 22cm 4800円 ①978-4-00-025985-9 ②235.07
- 内容** マオイストへの誘惑 第1部 造反の時(ブリュエ=アン=ナルトワの決戦 60年代のフランス 68年5月—リビドーの政治の勝利 マオイストとは誰のことだったのか アラン・パディウのセクトのマオイズムについて) 第2部 知識人の時(ジャン=ポール・サルトルが完璧なマオイストだった瞬間 文化—政治地球のなかの「テル・ケル」 フーコーとマオイストたち—バイオポリティクスとアンガージュマン ありえない遺産—文化大革命からアソシエーションのデモクラシーへ) [3854]
- ◇シャルル・ドゴール—民主主義の中のリーダーシップへの苦闘 渡邊啓貴著 慶應義塾大学出版会 2013.7 382p 20cm (文献あり 索引あり) 3200円 ①978-4-7664-2045-6 ②312.35
- 内容** 第1章 フランス崩壊への道 第2章 レジスタンスの英雄—ロレーヌ十字の下に 第3章 「砂漠の横断」—政治家への道 第4章 アルジェリア独立をめぐる内戦の危機と第五共和制 第5章 同盟も自立も 第6章 ドゴール時代の全盛と終焉 [3855]
- ◇1968年—反乱のグローバリズム ノルベルト・フライ著、下村由一訳 みすず書房 2012.4 283, 20p 20cm (文献あり 索引あり) 3600円 ①978-4-622-07680-3 ③377.96
- 内容** パリ、一九六八年五月 1章 はじめにはアメリカがあった 2章 ドイツ固有の道? 3章 西側世界での抗議運動 4章 東欧での運動 5章 なんだったのか、なにが残ったのか [3856]
- ◇パリ五月革命と日本人留学生 船岡末利著 論創社 2008.1 190p 20cm 1800円 ①978-4-8460-0772-0 ②235.07
- 内容** 第1部 パリの備置は催涙弾に煙った(五月三日の出来事 留学生医師の介抱 事件の新聞報道ほか) 第2部 嵐の後の孤独な闘い(IPFEの期末試験 大学博士号取得への夢 フランス・スワール特集誌「五月の日々」ほか) 第3部 天職を求めて(日本脱出の心境 海外留学生試験に合格 フランス修業生の生活ほか) [3857]
- ◇パロールの奪取—新しい文化のために ミシェル・ド・セルト著、佐藤和生訳 法政大学出版局 1998.5 167, 23p 20cm (叢書・ユニベルシタス 602) 2300円 ①4-588-00602-9 ②235.07
- 内容** 第1章 象徴的の革命 第2章 パロールを奪取する一発 第3章 話すための権力 第4章 知の社会的

- 動き 第5章 新しい文化のために [3858]
- チェコ事件(プラハの春)〔1968〕
- ◇ジョセフ・クーデルカ プラハ侵攻1968 ジョセフ・クーデルカ著、阿部賢一日本語訳 平凡社 2011.4 295p 32cm 3800円 ①978-4-582-27782-1 ②234.8 [3859]
- ◇プラハの春は鯉の味 北川幸子著 日本貿易振興会 1997.11 188p 18cm (JETRO books) 950円 ①4-8224-0798-5 ③302.348
- 内容** 鯉にたくす夢 わが家は手作り 変わる伝統食道を食べれば違いがわかる プラハの四季 チェコ風 お買い物流儀 懐しのボヘミアングラス ハンパーガー・パワール 音楽のグラッシュ 民族のごった煮は甘くない [ほか] [3860]
- 北アイルランド紛争〔1968—〕
- ◇平和学のいま—地球・自分・未来をつなぐ見取図 平井朗、横山正樹、小山英之編 京都 法律文化社 2020.7 183p 21cm 2200円 ①978-4-589-04096-1 ③319.8
- 内容** 「戦争なければ平和」ではない! 構造的暴力の発見とその克服プロセス 公害・環境破壊と開発主義の暴力 サブシステム志向の社会をめぐる市民連帯へ 開発主義からの脱却—「快」の増大から「苦」の縮減へ 近代世界システムと平和 開発・安全保障パラダイムから脱「安全保障」へ ジェンダーと平和—「生命と社会の再生産」をめぐる諸理論の批判的検討 リプロダクティブ・ヘルス/ライツと平和 「国際協力」という言葉がもつ権力性—言葉が現実を作り出す サブシステムの略奪と草の根の活動—フィリピン農村地域の事例から 北アイルランド紛争と平和構築 エクスポートジャーと市民連帯—平和学の方法と実践 [3861]
- ◇イギリスの失敗—「合意なき離脱」のリスク 岡部伸著 PHP研究所 2019.9 221p 18cm (PHP新書 1196) 920円 ①978-4-569-84350-6 ③312.33
- 内容** まえがき「合意なき離脱」へと突き進むジョンソン首相 序章 ポピュリストの暴君 第1章 二大政党制がなぜ機能しないのか 第2章 「氷の女王」はどこで挫折したのか 第3章 英日分断の原因を作ったのは誰か 第4章 世界が恐れる「合意なき離脱」の影響 第5章 最大の難問、アイルランド国境問題 第6章 EUはなぜ懲罰的な姿勢を続けるのか 第7章 英国が「日英同盟」復活を急ぐ理由 あとがき 日本への教訓[3862]
- ◇図説アイルランドの歴史 山本正著 河出書房新社 2017.4 179p 22cm (ふくろうの本) (文献あり 年表あり) 2000円 ①978-4-309-76253-1 ②233.9
- 内容** アングロ・ノルマン征服以前のアイルランド アングロ・ノルマンによる征服活動と先住民勢力の巻き返し テューダー朝によるアイルランド統治改革 スチュアート朝三王国体制下のアイルランド 名譽革命体制下のアイルランド 「ユナイテッド・アイリッシュメン」の反乱と連合王国への併合 カトリック解放運動と併合撤回運動 ジャガイモ飢饉と海外移

- 民 立憲的ナショナリズムとユニオニズム 第一次世界大戦とアイルランド—イースター蜂起から南北分離へ アイルランド自由国から社会へ 戦間期から第二次世界大戦にかけての国際化とアイルランド 現代のアイルランド 北アイルランド紛争と和平プロセス [3863]
- ◇北アイルランド政治論—政治的暴力とナショナリズム 南野泰義著 有信堂高文社 2017.3 395p 22cm (文献あり 索引あり) 7400円 ①978-4-8420-5575-6 ③312.338
- 内容** アイルランドにおけるナショナリズムとユニオニズム 19世紀アイルランドにおけるナショナリズム運動 アイルランド義勇軍とアイルランド・ナショナリズム 「イースター蜂起」とアイルランド・ナショナリズム 1918年イギリス総選挙とアイルランド 北アイルランド政府とUUP—党支配体制の崩壊 北アイルランド紛争における政治的暴力の構造(1969年—1998年) 北アイルランド自治議会選挙と武装解除問題 1998年「ベルファスト和平合意」の構造 [3864]
- ◇戦争・詩的想像力・倫理—アイルランド内戦、核戦争、北アイルランド紛争、イラク戦争 伊達直之、堀真理子、佐藤亨、外岡尚美著 水声社 2016.3 295p 22cm (青山学院大学総合研究所叢書) 3500円 ①978-4-8010-0157-2 ②932.7
- 内容** 一九二〇年代建國期のアペイ劇場—ロビンソン、オケイシー、イエイツと戦争の記憶 黙示録的時代を見据えて—第二次世界大戦後のシミュエル・ペケット 北アイルランド紛争とギリシア悲劇—シェイマス・ヒーニー『トロイの癒し—ソボクレス「ピロクテテス」一変奏』をめぐる 痛みの唯物性について—イラク戦争とアメリカ演劇の「倫理」を問う [3865]
- ◇紛争の記憶と生きる—北アイルランドの壁面とコミュニティの変容 福井令恵著 晋弓社 2015.3 335p 21cm 4000円 ①978-4-7872-3387-5 ③302.338
- 内容** 第1章 北アイルランド紛争後社会と壁面—本書の目的と意義 第2章 北アイルランドという場—フィールドの政治・社会背景 第3章 北アイルランドの壁面の歴史と壁面研究—先行研究から明らかにされたこと 第4章 壁面の表象における顕在と不在—何を記憶し、訴えるのか 第5章 壁面のイメージの流通—イメージは、コミュニティでどのように受け継がれ、共有されていくのか 第6章 観光と社会統合とローカル・コミュニティ 第7章 二つのコミュニティ—和解プロジェクトに見る可能性と限界 第8章 壁面と紛争経験の表象 [3866]
- ◇紛争という日常—北アイルランドにおける記憶と語り 民族誌 酒井朋子著 京都 人文書院 2015.2 306p 22cm (文献あり 年表あり 索引あり) 6000円 ①978-4-409-53048-1 ③302.338
- 内容** 第1章 揺れる日常、変わりゆく記憶 第2章 長期紛争経験の語りの解釈学 第3章 社会的・歴史的背景 第4章 紛争という日常 第5章 地域コミュニティの集合経験 第6章 平和への葛藤 第7章 時間を旅する歴史経験—問代的な記憶 第8章 対抗的物語と対抗的語りの行為 第9章 長期紛争の記憶を語るということ [3867]
- ◇モード・ゴン—一八六六—一九五三：アイルランドのジャンス・ダルク 杉山寿美子著 国書刊

中東の戦争

- ◇イラン現代史—従属と抵抗の100年 吉村慎太郎 著 改訂増補 有志舎 2020.4 262p 20cm 〈文献あり 年表あり 索引あり〉 2400円
①978-4-908672-39-2 ②227.207
[内容] 序論「域内大国」イランの特異性 第1章 19世紀帝国主義時代のイラン 第2章 立憲革命の展開と政治危機の深化 第3章 第一次大戦と戦後イランの混迷 第4章 レザー・シャー独裁王政の成立と変転 第5章 石油、冷戦と民族的抵抗 第6章 「改革」志向の独裁と米国、そして抵抗運動 第7章 革命、戦争と「党派対立」の激化 第8章 さらなる苦難の道へ [4026]
- ◇中東諸国民の国際秩序観—世論調査による国際関係認識と越境移動経験—意識の計量分析 浜中新吾、青山弘之、高岡豊編著 京都 晃洋書房 2020.3 310p 22cm (混谷大学社会科学研究所叢書 第130巻) 〈索引あり〉 3800円
①978-4-7710-3340-5 ③319.27
[内容] 中東諸国民の国際関係認識と越境移動 第1部 政治的認知地図(シリア)国民の政治的認知地図—世論調査の計量分析から読み解く政治意識 アラブ諸国民の世論調査結果に見る政治的認知地図—シリア、エジプト阿拉伯比較 レバノン国民の政治的認知地図—2010年5~6月実施の全国世論調査結果をもとに「アラブの春」の除で—パレスチナ人の政治的認知地図に反映された政治的課題 イスラエル人の国際秩序観—政治的認知地図の変容 政治的認知地図の変容に見る「シリア内戦」の影響 階層政治的認知地図—シリア国内避難民(IDPs)を対象とした世論調査結果をもとに [4027]
- ◇黒い同盟 米国、サウジアラビア、イスラエル—「反イラン枢軸」の暗部 宮田洋著 平凡社 2019.9 266p 18cm (平凡社新書 921) 900円
①978-4-582-85921-8 ③319.5302781
[内容] 第1章 サウジ人記者殺害事件から露呈した闇 第2章 米国、サウジの特殊関係はいつから始まったか 第3章 過激派を生んだ同盟関係 第4章 九一一をめぐめる奇妙な関係 第5章 「自由と民主主義」に反する同盟 第6章 反イラン枢軸—米国、サウジ、イスラエルの非神聖同盟 第7章 戦争を望む同盟 [4028]
- ◇近代アフガニスタンの国家形成—歴史叙述と第二次アフガン戦争前後の政治動向 登利谷正人 著 明石書店 2019.8 340p 20cm (世界歴史叢書) 〈文献あり 年表あり 索引あり〉 4800円
①978-4-7503-4830-8 ②27.1
[内容] 第1章 アフガニスタンにおける「近代」歴史叙述の成立過程(ドゥッラーニー朝成立に関する諸研究の立場 18世紀ベルシア語史料におけるドゥッラーニー朝成立に関する歴史叙述 アフガニスタン「近代史」の成立 小括) 第2章 第二次アフガン戦争とイギリスによる統治政策の変遷(本書の研究目的と関連先行研究 第二次アフガン戦争前のアフガニスタン 第二次アフガン戦争後のアフガニスタン統治体制 アミー

- ル・アブドゥル・ラフマーン即位直後の英領インド関係 小括) 第3章 モフマンド族—ラールプーラにおける英領インドの統治政策(モフマンド族とラールプーラのハーンの系譜 第二次アフガン戦争とイギリスの対国境地帯政策 1880年1月モフマンド騒乱の展開 小括) 第4章 デュアランド・ライン合意の締結(19世紀末のアフガニスタン、英領インド関係 ワズィーリスタンをめぐるアフガニスタン、英領インド間関係 デュアランド・ライン合意締結とその後のアフガニスタン側の対応 小括) [4029]
- ◇シリアの悲嘆—キリスト教徒虐殺事件—1840年 若林啓史著 知泉書館 2019.8 871, 40p 図版16p 22cm 〈文献あり 年表あり 索引あり アラビア語抄訳付〉 15000円 ①978-4-86285-300-4 ③192.275
[内容] 序章 歴史的シリアのキリスト教 第1章 事件の背景と概略 第2章 身辺の備忘が史書になるまで—ムーハーイール・ミシャーカ 第3章 ある司祭の殉教—エヌーフ・アッディマシユキ 第4章 故郷を捨てて故郷を憶う—アルビイー—父子 第5章 イスラム教徒名望家の見た事件—ムハンマド・アブ—アッスワード・アルハスィービー 第6章 キリスト教徒を救ったムスリム—アブド・アルカーディル・アルジャザイール 第7章 処刑されたダマスカス総督—アフマド・パシャ 第8章 事件のその後と終わらぬ問題 結語 [4030]
- ◇エルドアンのとルコ—米中覇権戦争の狭間、中東で何が起きているのか 松富かおり著 中央公論新社 2019.7 270p 20cm 〈文献あり〉 1800円 ①978-4-12-005219-4 ③312.274
[内容] 第1章 クーデター未遂事件—二〇一六年七月一五日 第2章 二つのトルコ 第3章 さらに進むエルダンの強権政治—クーデター未遂事件への序章 第4章 トルコの外交—冷戦から第二の冷戦へ 第5章 米中覇権戦争の中のトルコ 第6章 米中覇権戦争が激化を促す中、トルコで起こっていたこと 第7章 今後の世界 [4031]
- ◇現代国際関係学叢書 第5巻 国際関係の争点 宮脇昇編 志学社 2019.5 310p 21cm (索引あり) 2700円 ①978-4-904180-97-6 ③319.08
[内容] 第1部 争点化の経路と統合の過程(争点化の新しい方法論 安全保障と通商のリンケージ—沖縄返還における「糸と縄」の取引 国内政治における経済的自立の争点化—インドネシアにおける開発モデルの競合 マイノリティの権利と「争点化」—朝鮮高校学費支援問題を例として) 第2部 経済的側面の争点化・非争点化(中国の台頭で変化する国際通貨体制—基軸通貨米ドルの将来と日本の対応 開発援助における民主化の争点化・非争点化 争点としての石油・ガス) 第3部 新たな争点の形成(地球環境の領域における争点化—地球環境ガバナンスの観点から たばこ規制のグローバル・ガバナンス—グローバル・ヘルスの争点化 対人地雷、クラスター爆弾の包括的禁止実現までの道

- のり)と残る課題 トルコにおける紛争と人口移動に関する歴史的争点化 米国外交政策の争点形成モデル—規範形成型と脅威形成型の非国家主体 [4032]
- ◇トルコ共和国国民の創成とその変容—アタテュルクとエルドアンのはざままで 小笠原弘幸編 福岡九州大学出版会 2019.4 296, 9p 22cm 〈索引あり〉 4800円 ①978-4-7985-0257-1 ②227.4
[内容] 「アタテュルクのトルコ」を問い直す—共和国史をめぐる研究潮流と本書の射程 第1部 アタテュルクの描いたトルコ国民像とその創成(国民史の創成—トルコ史テゼとその後 国民創出イベントとしての文字革命 感性を「統合」する—国民音楽からトルコ民俗音楽へ 国父のページェント—ムスタファ・ケマルと共和国初期アンカラの儀礼空間) 第2部 トルコ国民像をめぐるネゴシエーション(アタテュルク後の宗教教育政策—ライクリキの転換点 国民国家トルコとアナトリアの諸文明—イスラム化以前の遺跡をめぐる文化政策 トルコにおける抵抗文化—ハヌスト・キャンベーンからみる国家・社会関係) 第3部 交錯する空間のなかのトルコ国民—国境、移民・難民、隣国からの眼差し(トルコ共和国の境界—領土紛争と国境トルコの移民・難民政策 イラクからみるトルコ—世論調査の計量分析から) 激動の五年間(二〇一三—一八年)と大統領制の始まり [4033]
- ◇モサド—暗躍と抗争の70年史 小谷賢著 早川書房 2018.12 275p 16cm (ハヤカワ文庫 NF 533) 〈文献あり 年表あり 新潮社 2009年刊の加筆〉 900円 ①978-4-15-050533-2 ③391.6
[内容] 第1章 創設の時代 第2章 飛躍の時代 第3章 試練の時代 第4章 活躍の時代 第5章 失敗とスキャンダルの時代 第6章 イランとの暗闘 [4034]
- ◇「中東」の世界史—西洋の衝撃から紛争・テロの時代まで 白村陽著 作品社 2018.8 302, 15p 19cm 〈年表あり 索引あり〉 2600円 ①978-4-86182-681-8 ②27
[内容] 第1章 「中東」の歴史を考えるために 第2章 近代ヨーロッパとの遭遇 第3章 植民地化への抵抗運動 第4章 帝国主義とナショナリズム 第5章 第一次世界大戦とオスマン帝国の崩壊 第6章 両大戦間期の委任統治 第7章 第二次世界大戦後のアラブ冷戦 第8章 イスラム復興とモソ冷戦後の世界 [4035]
- ◇オスマン帝国の崩壊—中東における第一次世界大戦 ユージン・ローガン著、白須英子訳 白水社 2017.10 543, 58p 20cm (文献あり 索引あり) 4500円 ①978-4-560-09566-9 ②227.4
[内容] 革命と三つの戦争—一九〇八—一九一三 「大戦」前の平和 世界規模の動員令—斉射撃始まる—オスマン帝国領—カサスとシナイ半島での戦い—ダーダネルス海峡襲撃 アルメニア人の虐殺 ガリポリ半島でのオスマン帝国の勝利 メソポタミア侵攻 クートの攻囲 アラブの反乱 負け戦—バクグード シナイ半島 エルサレムの陥落 オスマン帝国の終焉 [4036]
- ◇中東世界データ地図—歴史・宗教・民族・戦争—ダン・スミス著、龍和子訳 原書房 2017.9 177p 28cm 〈文献あり 索引あり〉 5800円 ①978-4-562-05430-5 ②227
[内容] 第1部 中東の形成(オスマン帝国 ヨーロッパの植民地主義 第一次世界大戦後の新たな中東 ほか) 第2部 転換期にある中東地域(政治と人権 信仰 民

- 族 ほか) 第3部 紛争の舞台(イスラエルとパレスチナ レバノン アルジェリア ほか) [4037]
- ◇イスラエル秘密外交—モサドを率いた男の告白 エフライム・ハレヴィイ著、河野純治訳 新潮社 2016.8 520p 16cm (新潮文庫 シー38-24 [Science & History Collection]) 〈年表あり 「モサド前長官の証言「暗闇に身を置いて」」(光文社 2007年刊)の改題) 790円 ①978-4-10-220066-7 ③391.6
[内容] 闇の外へ イラン・イラク戦争の終結 戦争への秘蔵 湾岸戦争の足跡、その光と影 中東紛争に対する国際的関心 プロフェッショナル・レベル—平和維持の第三の要素 イスラエル・ヨルダン和平条約と和平条約締結までの三か月 さざまな指導者との思い出 時代の 변화と優先事項の変化 メチャール事件 新長官の最優先事項 傲慢、尊大、自信過剰 新時代の到来—国家間の仲介役としての諜報員 情報政治的探作 シャロンの功績 責任を負うことと責めを負うこと 現在の新たな視点 外交—可能なことを実行する技術 [4038]
- ◇中東から世界が崩れる—イランの復活、サウジアラビアの変貌 高橋和夫著 NHK出版 2016.6 254p 18cm (NHK出版新書 490) 780円 ①978-4-14-088490-4 ③319.27
[内容] 第1章 「国交断絶」の衝撃 第2章 イスラム世界の基礎知識 第3章 「悪の枢軸」—イランの変質 第4章 「国もどき」—サウジアラビアの焦り 第5章 国境線の溶ける風景 第6章 テロと難民 第7章 新たな列強の時代へ 終章 中東と日本をつなぐもの [4039]
- ◇中東と日本の針路—「安保法制」がもたらすもの 長沢栄治、栗田植子編 大月書店 2016.5 259p 19cm 〈文献あり〉 1800円 ①978-4-272-21113-5 ③319.1027
[内容] 第1部 岐路に立つ日本と世界—日本はどこに向かおうとしているのか(「安保法制」と中東 「安保法制」論議の足元を考え直すための視点三つ ほか) 第2部 中東と世界で起きていること(イラクの現在を検証する—戦争がもたらした政治社会の混乱 シリア内戦の途中検証—私たちは何を誤ったのか ほか) 第3部 日本の軍事大国化と中東(中東では軍事よりソフト・パワーで「いつか来た道」と「対米従属」 「中東危機」と日本外交の変質の三〇年 ほか) 第4部 いま私たちがやるべきこと—平和憲法と日本の外交力(中東の悲劇に対して市民ができること 中東研究者が今考えること—戦争体験・アルジェリア独立・チュニジア市民の力 ほか) メッセージ篇 私たちはなぜ「安保法制」に反対するのか(友好の貯金を大切に 平和国家への信頼を裏切る安保法制 ほか) [4040]
- ◇戦争のリアルと安保法制のウソ 西谷文和著 大阪 日本機関紙出版センター 2015.11 88p 21cm 800円 ①978-4-88900-929-3 ③319.27
[内容] 第1章 「イスラム国」の正体を暴く(戦後アメリカに占領された2つの国 巨額の利権獲得を狙ったアメリカ 「イラクのアルカイダ」の誕生 ほか) 第2章 戦争のリアル、安保法制の虚構(911事件への疑問集団の自衛権行使で各国が参戦 ためらわず撃つ状況に ほか) 第3章 「ルボ」レバノンからシリア内戦へ(2012年4月、レバノン難民取材 2013年3月、シリア潜入へ 2014年4月、シリア内戦へ潜入) [4041]
- ◇なぜ国々は戦争をするのか 下 ジョン・G・ストウンガー著、等松春夫監訳、比較戦争史研究

【あ】

相川 美恵子 …… 5384
 アイク, エーリッ
 ヒ …… 3612~3616
 合澤 清 …… 1107
 相沢 邦衛 ……
 5503, 6366
 アイセイ, デイ
 ヴ …… 5063
 アイゼン, ジョー
 ジ …… 1984
 アイゼンドラス,
 クレイグ …… 3313
 アイゼンバーグ,
 L.Z. …… 4244
 アイゼンパワー,
 スーザン …… 2786
 相田 磯吉 …… 6049
 アイポーア, エル
 ジャン …… 2870
 アイマー, デイヴ
 イッド …… 5829
 アーウィン, ウィ
 ル …… 0814
 アーウィン, ステ
 イヴ …… 4818,
 4822, 4828
 アウンサンソー
 チー …… 7583
 青木 彰 …… 6371
 青木 一能 ……
 0151, 4812
 青木 茂 …… 0847, 0937
 青木 進々 …… 1998
 青木 武 …… 5704
 青木 裕司 ……
 2192, 2314
 青木 富貴子
 …… 4589, 5136
 青木 基行 …… 1134
 青木 謙知 …… 0345,
 1208, 2434, 5130
 青野 利彦 ……
 2663, 2692
 青柳 純一 …… 6618
 アオヤマ, エミ
 リー …… 5110
 青山 智樹 …… 0031
 青山 弘之 …… 4027,
 4302, 4675, 4683

青山 誠 …… 0794
 青山 南 …… 4614
 青山 森人 …… 7544,
 7550~7552
 赤江 達也 …… 5595
 銅 大 …… 0144
 赤木 完爾 …… 1797,
 2833, 7137
 明石 康 …… 2503, 3918
 赤間 剛 …… 1640
 アガンベン, ジョ
 ルジョ …… 2010
 秋田 茂 …… 0057
 秋田 良子 …… 3743
 秋野 豊 …… 1777
 秋元 英一 …… 0251
 秋元 由吉 …… 6919
 秋山 浩 …… 3691
 秋山 代治郎 …… 6508
 『秋山好吉と智志
 野崎兵旅団』刊
 行会 …… 6451
 秋吉 久紀夫 …… 0197
 アグテ, バトリッ
 ク …… 0874, 0876
 アグネス・チャ
 ン …… 4551
 阿古 智子 …… 7638
 吾郷 修司 …… 7054
 アーサー, ボー
 ル …… 3875
 浅井 亜紀子 …… 5716
 浅井 信雄 …… 2279,
 2331, 2389
 朝河 貫一 …… 6402
 朝妻 健 …… 4523
 麻田 雅文 …… 3741,
 3742, 4446
 アサーニヤ, マス
 エル …… 3805
 浅野 和生 …… 2850
 浅野 豊美 …… 2818
 浅野 祐吾 …… 0153
 朝日新聞アタ取
 材班 …… 3134
 朝日新聞「クル
 ドの肖像」取材
 班 …… 4543
 朝日新聞取材班
 …… 3222, 5248
 朝日新聞特別取
 材班 …… 3101
 浅見 雅男 …… 5521

アジア法文化研
 究班 …… 7516
 芦田 均 …… 1764, 1765
 アシュカル, ジル
 ベール …… 3011,
 3252, 4059
 アシュラウイ, ハ
 ナン …… 4117
 アージュロン,
 シャルル=ロ
 ベール …… 4789
 足羽 興志子 …… 0148
 アスマン, アライ
 ダ …… 1857
 安住 恭子 …… 6575
 麻生 晴一郎 …… 7368
 阿曾村 邦昭 …… 6995
 足立 研幾 …… 2082
 安達 正勝 …… 3428,
 3436, 3450,
 3455, 3489, 3539
 アダムズ, サイモ
 ン …… 0592,
 0598, 0754, 0763
 アダムズ, ネル
 …… 5277
 アッカーマン, ダ
 イアン …… 1866
 アッシュ, ティ
 モシー・ガート
 ン …… 2809, 2810
 渥美 堅持 …… 3131,
 3145, 4125,
 4274, 4642
 アティーク, ナイ
 ム …… 4150
 アトリー, F. …… 6945
 アトワーン, アブ
 ドルバーリ …… 3214
 アナクロニズム
 45 …… 1206
 阿南 友亮 …… 5810
 アナン, コフィ
 …… 2981, 4708
 畔森 正雄 …… 4338
 アブレライシュ,
 イゼルティン
 …… 4171
 アフガニスタン
 国際戦犯民衆
 法廷(ICTA)
 実行委員会 …… 4410
 アプデルワーヘ
 ド, サイード

…… 4199
 アフマド, イク
 バール …… 3126
 アブラハム, ケ
 ン …… 5135
 安倍 源基 …… 5618
 阿部 孝一郎 …… 1286
 阿部 浩己 …… 4169
 阿部 純一 ……
 5223, 5252
 阿部 猛 …… 5443
 阿部 利洋 ……
 2554, 4741
 阿部 俊哉 …… 4230
 安倍 雅史 …… 2893
 阿部 安雄 …… 5520
 阿部 良男 ……
 1615, 1633
 安部川 元伸
 …… 3067, 3080
 アポストロ, ジョ
 ルジョ …… 0999
 アマー, アラン
 …… 5005
 天木 直人 …… 4664
 天見 慧 …… 5231, 5748,
 5782, 5785, 5790
 天野 恵一 …… 2615
 アーミティジ, デ
 イヴィッド …… 0010
 網野 徹哉 …… 4885
 網屋 喜行 …… 5693
 アームストロン
 グ, ジュニフ
 アー …… 1947
 アムルンク, ウル
 リヒ …… 1588
 雨宮 栄一 …… 1565
 米国務省 …… 3069, 3074
 鮎川 置太郎 …… 0318
 阿羅 健一 ……
 6882, 6978
 新井 顕重 …… 6263
 荒井 悦代 …… 7557
 荒井 信一 …… 0177
 荒井 利明 …… 5755
 新井 政美 ……
 4293, 4295
 荒井 雄吉 …… 1676
 荒木 映子 ……
 0485, 0577
 荒木 肇 …… 5398
 荒木 基 …… 3223

【あ】

IRA →北アイルランド紛争 [1968-]	333
ISIS →ISIL/ISIS	275
ISIL →ISIL/ISIS	275
アイヒマン →ユダヤ人への犯罪	155
アイルランド共和国軍 →北アイルランド紛争 [1968-]	333
アイルランド独立戦争 →アイルランドの反乱 [1916-21]	325
アイルランドの反乱 →アイルランドの反乱 [1916-21]	325
アウシュヴィッツ強制収容所 →アウシュヴィッツ強制収容所	167
アウンサンスーチー →ビルマ/ミャンマーの民主化運動 [1988・2007]	642
秋山 真之 →日本海海戦	557
秋山 好古 →日露戦争 [1904-05]	534
アジア・太平洋戦線 →アジア・太平洋戦線	59
アジアの戦争 →アジア・オセアニアの戦争	448
アジアの冷戦 →アジアの冷戦	243
新しい戦争 →新しい戦争/対テロ戦争 [2001-]	258
アチェ独立運動 →アチェ独立運動 [1976]	624
アフガニスタン戦争 →アフガニスタン戦争 [1979-89]	373
アフガニスタン紛争 →アフガニスタン紛争 [2001]	378
アブドゥルカリーム →リーフ戦争 [1859-2002]	412
アフリカ戦線 →第一次世界大戦 [1914-18]	45
アフリカの戦争 →アフリカの戦争	405
アヘン戦争 →アヘン戦争 [1840-42]	517
雨傘デモ →香港デモ [2014-]	648
アメリカ軍 →アメリカ軍・政府	143
→アメリカ軍(イラク戦争)	393
アメリカ独立革命 →独立戦争 [1775-83]	425
アメリカの戦争 →アメリカの戦争	422
アメリカの対外戦争 →湾岸戦争 [1990-91]	374
→アフガニスタン紛争 [2001]	378
→イラク戦争 [2003-11]	383
→米西戦争 [1898]	532
→米比戦争 [1899-1902・13]	532
→朝鮮戦争 [1950-53]	600
→ベトナム戦争 [1961-75]	611
アメリカ・メキシコ戦争 →ラテンアメリカ	422
アラビアのロレンス →アラブ反乱 [1916-18]	58

アラブの春 →アラブの春 [2010-12]	280
→ジャスミン革命 [2010-11]	420
→エジプト革命・危機 [2011-14]	420
アラブ反乱 →アラブ反乱 [1916-18]	58
アルカイダ →タリバーン/アルカイダ	272
アルジェリア戦争 →フランス五月革命 [1968]	332
→アルジェリア戦争 [1954-62]	413
アルデンヌの戦い →アルデンヌの戦い	92
アルバニア暴動 →ユーゴスラビア内戦 [1991-]	337
アルメニア人 →世界	1
アロー号戦争 →アロー号戦争 [1856-60]	519
暗号戦 →戦史・戦記一般	69
アンゴラ内戦 →アンゴラ内戦 [1975-2002]	416
アン・ナクバ →イスラエル・アラブ紛争	357
イギリス軍・政府 →イギリス軍・政府	139
石原 莞爾 →日本史全般	462
イースター蜂起 →アイルランドの反乱 [1916-21]	325
イスラエル・アラブ紛争 →イスラエル・アラブ紛争	357
イスラム圏 →イスラム圏の問題	248
→中東の戦争	348
イスラム国 →ISIL/ISIS	275
イタリア統一戦争 →イタリア統一戦争 [1859]	312
乙未事変 →乙未事変 [1895]	530
イーデン回顧録 →戦時外交	147
犬養 毅 →昭和維新 [1932・36]	497
イラク原子炉爆撃事件 →中東の戦争	348
イラク戦争 →イラク戦争 [2003-11]	383
イラン・イラク戦争 →イラン・イラク戦争 [1980-88]	374
イラン革命 →イラン革命 [1979]	372
インディアン戦争 →インディアン戦争	425
インドシナ戦争 →ベトナム戦争 [1961-75]	611
インド大反乱 →インド大反乱 [1857-58]	520
インド独立 →インド独立 [1947]	597
インド独立戦争 →インド大反乱 [1857-58]	520
インドネシア独立戦争 →インドネシア独立戦争 [1945-49]	596
インドネシアのクーデター →インドネシアのクーデター [1965]	624
印パ戦争 →カシミール問題	516
ヴァンデ戦争 →フランス革命 [1789-99]	295
ウイグル問題 →新疆ウイグル問題	513

近現代戦争史年表

※太字は戦争・事変、細字は一般情勢を表す

- 1773 **ボストン茶会事件**
- 1775 **アメリカ独立戦争**、インドにおいて**第一次マラータ戦争**、**レキシントン-コンコードの戦い**
- 1776 **トーマス・ペイン**、『**コモン・センス**』を刊行、**アメリカ植民地**、**独立を宣言**、**アダム・スミス**、『**国富論**』を刊行
- 1777 **サラトガの戦い**
- 1778 **アメリカ独立戦争**に関連し**フランス**、**イギリス**に**宣戦布告**、**モンマスの戦い**、**バイエルン継承戦争**
- 1779 **アメリカ独立戦争**に関連し、**スペイン**、**イギリス**に**宣戦布告**、**テッシェンの和約**によって**バイエルン継承問題**が決着、**バイエルン継承戦争**終結
- 1781 **中国**において**蘇四十三・田五の乱**、**ヨークタウンの戦い**
- 1782 **第一次マラータ戦争**終結
- 1783 **アメリカ独立戦争**終結、**パリ条約**により、**アメリカ合衆国**の**独立**が承認される
- 1786 **林爽文の乱**
- 1787 **第二次ロシア-トルコ戦争**、**フィラデルフィア**において**アメリカ憲法制定会議**が開催される、**林爽文の乱**終結
- 1789 **フランス革命**、**ベルギー**において**ブラバント革命**、**第二次ロシア-トルコ戦争**終結、**フランス革命戦争**、**ワシントン**、**アメリカ合衆国初代大統領**に就任、**バルミーの戦い**、**フランス人権宣言**
- 1792 **フランス**、**第一共和制**開始
- 1793 **第一次対仏大同盟**が成立
- 1794 **テルミドールのクーデター**により、**ジャコバン派**の**恐怖政治時代**が終焉
- 1795 **ハルダの戦い**、**総裁政府**が成立、**プロイセン**、**ロシア**、**オーストリア**による**ポーランド分割**が終了
- 1796 **ナポレオン**、**イタリア遠征**
- 1797 **サンビセンテ岬の海戦**
- 1798 **ナポレオン**、**エジプト遠征**、**第二次対仏大同盟**が成立、**アブキール湾の戦い**
- 1799 **ナポレオン戦争**、**ブリュメール八日のクーデター**により、**ナポレオン**政権成立、**第四マイソール戦争**、**ナポレオン**、**統領政府**を樹立
- 1800 **マレンゴの戦い**、**イギリス**、**アイルランド**と合邦
- 1801 **グレートブリテン及びアイルランド連合王国**成立、**辛酉の獄**（**朝鮮**、**キリスト教**に対する大迫害）
- 1802 **イギリス**、**フランス**、**アミアンの和約**を結ぶ
- 1803 **第二次マラータ戦争**

近現代戦争史図書目録 1996-2020

2021年2月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／光写真印刷株式会社

不許複製・禁無断転載
〈落丁・乱丁本はお取り替えいたします〉

〈中性紙三菱クレームエレガ使用〉

ISBN978-4-8169-2867-3

Printed in Japan, 2021

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。